

219. 今日は何の日？

技術戦略部 調査役（土木・建築） 黒田 充

今号のメルマガ（技術開発情報メール）は、10月26日に配信予定と聞いています。配信日が変更となった場合はご容赦いただきたいのですが、同日は「原子力の日」、「柿の日」、「青汁の日」・・・だそうです。これらの日の由来を調べてみますと、以下のとおりのことです。

【原子力の日】

1956年10月26日に日本が国際原子力機関（IAEA）に加盟したこと、及び1963年10月26日に茨城県東海村の日本原子力研究所で日本初の原子力発電が行われたことに由来。日本政府が1964年7月31日の閣議決定により制定。

【柿の日】

正岡子規（俳人）が1895年10月26日からの奈良旅行で、「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」を詠んだとされることに由来。全国果樹研究連合会カキ部会が2005年に制定。

【青汁の日】

10（月）を英語の「IO（アイオー）」に見立てて「青」と読み、26（日）を「汁（ジル）」と読む語呂合わせ。（株）アサヒ緑健（青汁のメーカー）が制定。

「〇〇の日」（記念日）の日付については、過去に歴史的な出来事があった日とするのを基本としつつも、語呂合わせによるものも数多くあるようです。また、公的な機関が制定した記念日のほか、企業や商店が商品の販売促進のために制定した記念日など様々な種類のものがあるそうです。

さてここで、私の職名に「建築」という言葉がありますので、建築に関連した記念日をひとつ紹介しますと、今号のメルマガ配信からおおよそ2週間後の11月11日が「公共建築の日」となっています。

この日は記念日が多いそうで、おそらく（上記よりも）「ポッキー&プリッツの日」を思い出される方が多いのではないかと思います。これは江崎グリコ（株）が制定したもので、「1111」が4本のポッキーあるいはプリッツに見えることに由来しているそうです。PR活動（キャンペーン）の効果もあってか、認知度の高い記念日となっていると思います。

話を戻しますと、由来については「公共建築の日」も似通っているといえますか、「1111」が建築の基本的な構造を象徴する4本の柱をイメージさせることや、（公共建築の代表格と

もいえる) 国会議事堂の完成年月(昭和 11 年 11 月)によるそうで、制定されたのは 2003 年と比較的新しいようです。ちなみに、同日を含む 11 月を「公共建築月間」として、関係団体、地方公共団体、国(省庁)などが幅広く協力しつつ、広く一般の方々にも関心を持っていただきながら、より一層、国民生活に密着したより良い公共建築を目指していくといった趣旨のもと、パネル展や見学会、講演会などのイベントが全国で開催されています。開催イベントについては、公共建築協会 HP に掲載されていますので、関心のある方はご覧ください。

最後に、本稿は「“下水道”よもやま話」ですので、下水道に係る話もしたいと思います。ご存じの方も多いと思いますが、(先月の)9 月 10 日は「下水道の日」でした。今更ながらですが、PR も兼ねて、その由来・経緯について簡単に触れたいと思います。

1961 年・・・著しく遅れていた我が国の下水道普及促進を図るため、当時下水道を所管していた建設省(現在の国土交通省)、厚生省(現在は環境省に所管変更)と日本下水道協会の前身団体が協議して、「全国下水道促進デー」として制定したのが始まりとなっています。その後、旧下水道法制定 100 年目を迎えた 2001 年に、より親しみのある名称として「下水道の日」に変更され、現在に至っています。

下水道には、生活排水をきれいにして川や海に返す役割のほかに、雨水を速やかに排除して、私たちの暮らしを守る役割もあります。9 月 10 日は立春から数えて 220 日目にあたり、昔は大きな台風が来る日とされていました。この大雨(台風)に備える特別な日が、「雨水の排除」という下水道の役割となじみがあることから、同日が「下水道の日」と定められました。

私は当事業団に出向してはじめて下水道事業に携わったこともあり、「下水道の日」を知ったのは最近のことでした。知ったきっかけとしては、町内会の回覧板(「下水道の日」を PR した資料)でした。それを契機として、インターネットでいろいろと検索し、日本下水道協会 HP に辿り着きました。その HP で目に付いたのが、「下水道の日」ポスターでした。ポスターには標語があり、近年のものを以下に少し例示します。

- 【第 61 回】 下水道 雨水も汚水も すーいすい
- 【第 60 回】 マンホール 街をきれいに するとびら
- 【第 59 回】 下水道 見えないしごとに 金メダル
- 【第 58 回】 未来へと ぼくらがつなぐ 下水道
- 【第 57 回】 下水道 水が自然に かえる道

それぞれ好みはあると思いますが、第 57 回はポスターの絵と相まって下水道の役割や重

要性を平易な表現で端的に伝えるものとなっていますし、第 60 回は日々見かけるマンホールの見方・イメージを変えさせるような（明るくするような）標語であり、ワクワクとさせられるというか興味を持たせるようなものが多くみられます。

新型コロナの影響により、昨今は広報活動やイベントなどが控え目となり、「下水道の日」や「公共建築の日」などの記念日の存在を知る機会自体が減っているのかもしれませんが、私のように町内会の回覧板でもよいのですが、今日は何の日だろうと記念日を検索・チェックしてみて、興味がある記念日であれば、そこからさらに検索していく・・・そうすると、案外面白い情報を入手することができ、大袈裟かもしれませんが、知識の幅を広げ、深くすることができるかもしれません。そういった視点で、記念日を探索するのもよいのではないのでしょうか。

ちなみに、記念日に関連して、日本記念日協会という団体があるそうです。同協会の HP では月日を指定して記念日を検索することができますので、興味のある方は参考になさってください。なお、本稿を書いている段階では、「下水道の日」は検索できました（登録されていました）が、「公共建築の日」は検索できません（登録されていません）でした。同協会認定登録された記念日でなければ検索できませんので、その点ご注意ください。